# 河内貯水池にたたずむ 歴史と人、自然

周囲の景観と一体の河内貯水池

１０１年前の大正８年（１９１９）５月、八幡市（当時）の山間・河内の板櫃川上流で大規模土木工事が始まった。８年後の昭和２年（１９２７）３月完成したのが、当時東洋一の規模で誕生した河内貯水池。官営八幡製鉄所の工場用水施設でその重要な使命を果たす。同時に、今や地域の、いや北九州全域の人々の心を潤す地でもある。そこにはまた、人々の思いも秘められている。

八幡東区大蔵から南に川沿いの山路を上ること車だと10数分、上流は谷をふさぐ堰堤によって湖となり、周囲を森に囲まれた貯水池が現れる。堰堤は高さ44㍍、長さ１８９㍍のコンクリート製。だが基礎はコンクリでもその上に地元産の切石、割石を積み上げて美観を整え、訪れる人の目を引く。

貯水池は面積50万２０００㎡、貯水量７００万㎥。池周囲は長さ6.9㌔で遊歩道が整備され、桜、カエデなど様々な樹木が季節を感じさせる。平成18年に国重要文化財に指定された魚形の南河内橋（通称眼鏡橋）をはじめ多くの施設全てが自然と一体。これら、現代人の心も捕らえる景観に配慮した施設を大正、昭和初期の製鉄所マンが考え、実現させた。

## 貯水池築造 第１次大戦が契機

官営八幡製鉄所は１９１４年の第一次世界大戦勃発による鉄鋼需要の増大で、鋼材生産量をそれまでの年30万㌧から65万㌧（後75万㌧に変更）に増産する第３期拡張計画を立てた。それに伴う用水量増大に対処するため大正５年（１９１６）、製鉄所に近く自然落下で輸送電力が要らない河内の板櫃川上流での貯水池築造を決めた。八幡市もそのころ同所を上水道用水源と検討していた。製鉄所の余浄水を市の上水道用に回すことで築造に同意したという。設計、工事監督を担当したのが当時の製鉄所土木課長（後、土木部長）沼田尚徳（ひさのり）だった。

優雅な姿が人の目を引く南河内橋

河内を貯水池にすることによって、その地の住民は移転を余儀なくされた。当時、農家を中心に30数戸と小学校があり、うち13戸と学校は貯水池近辺に、他は地区外に移転した。池に面した河内１丁目に住む樋口法明さん（82）は「先祖代々約４００年、河内にいます。現在の地には祖父の代に製鉄所が用地代、移転費用を負担して移った。貯水池築造や住民移転に反対の運動はなかった、と聞いています」と話す。

しかし表面的な反対運動はなかったにせよ、故郷を離れることによる住民同士の離別、心的負担は大きなものがあったと想像される。沼田氏が、我が国にかつてない姿の貯水池を設計、築造したことに対して、国の会計検査院が「公園ではあるまいし、ぜいたくすぎる」と叱責したことがあるという。「しかし」と北九州市文化財を守る会の前薗廣幸理事長は「沼田氏は、このような負担を強いた地元住民、市民に恩返しの意味を込めて、将来観光にも役立つ、心休まる場にと考えて設計したのではないでしょうか」と話す。

貯水池を見渡す地の沼田泰子さんの碑（裏面の英文は沼田尚徳さんによる）

## 池縁辺に多くのドラマ

その沼田氏の夫人泰子さんの記念碑が樋口さん方に隣接する白山神社参道近くに立つ。工事期間中、労働者への寿司やおはぎを持って河内に通った。工事には８年間で延べ約90万人が従事したが犠牲者は一人も出なかった。夫人は昭和３年、40歳で病没。親交の厚かった人たちの協力で沼田氏が建立した。

池周辺にはまた、「遭難五士慰霊碑」という昭和７年（１９５２）５月、日本航空輸送㈱建立の石碑が立つ。同年２月27日、貯水池上空で大阪から福岡に向かう飛行艇「白鳩号」が乱気流で空中分解し池沿い山中に墜落、搭乗者５人が犠牲になった事故。前年６月に朝倉郡冷水峠で起きた我が国初の旅客機墜落事故に続く事態に国は事故調査委員会を初めて設置した。湖底にはまた、工事の資材運搬に使用していた米国製蒸気機関車２両が眠っている、との話もある。貯水池完成で不要になり、湖底に置いたままにしていたという。前薗理事長によると、約20年前、電波探知機で調査したが池底の土砂が厚いことから発見できなかった。「しかし関係文献に機関車処分を示すものは無く池底に残っていることはほぼ確実では」。訪れる人に歴史ロマンもかきたたせる。

シニアスタッフ 村田和夫

## ◆北九州 歴史文化塾◆

### 河内貯水池

官営八幡製鉄所の工場用水供給施設として誕生して93年。現在もその役割は果たしつつも、北九州地域だけでなく自然を愛する全ての人から親しまれている。池の周囲には、昭和２年（１９２７）の貯水池完成当初の橋や建物等多くの施設が現存し、かつ貯水池にまつわる物語などが残されている。周囲を巡る遊歩道、景観を楽しみながら、その歴史を学びます。

**開催日時**　６月４日（木）13:00 ～ 16:00
**集合場所**　スペースワールド駅集合
**講　　師**　北九州シニア応援団スタッフ
**受 講 料**　SAKURA 倶楽部会員 2000 円（車・保険込）
　　一般 2500 円

**【参加お申し込み・お問い合わせ】**
**さくら編集部　☎ 093-965 - 6080**

第 37 回 北九州歴史文化塾 行程表
河内貯水池

| 時間 | 行程 |
|---|---|
| 13：00 | スペースワールド駅集合 |
| 13：15 | 環境ミュージアム見学 |
| 14：00 | 河内貯水池散策 |
| 16：00 | スペースワールド駅解散 |